



千葉県警察シンボルマスコット シーポック

令和7年中の千葉県内における交通人身事故件数は増加(12,618件、前年比+31件)しましたが、死者数は122人(前年比-9人)と減少しました。

千葉県警察では飲酒運転などの悪質な運転者の取締りや、交通事故防止の取組を推進しています。悲惨な交通事故をなくすため、日頃から安全運転や、安全な道路横断などを心掛けましょう。

### ▶▶ 令和7年中の死亡事故の特徴

#### 横断歩道横断中の死亡事故が増加

交通事故で亡くなった方のうち最も多かったのは「歩行者」(48人)で、全体の約4割を占めています。

歩行者が関係する事故は前年に比べて増加し、そのうち横断歩道横断中に亡くなった方が増加しています。

#### 「夕暮れ時」に死亡事故多発

16時台から19時台に死亡事故が多発しました。この時間帯は職場や学校からの帰宅時間のため交通量が増えることに加え、日没により周囲が徐々に暗く、見えにくくなるため、

- ・車が横断歩行者や自転車を見落とす
- ・歩行者が「車はまだ遠い」と錯覚して横断を開始する等の原因による事故が発生しやすくなっています。

#### 車両※同士の死亡事故では「出会い頭」が最多

車両同士の死亡事故で最も多かったのは「出会い頭」でした。原因の多くは「安全確認の不足」で、「止まれ」の標識で一時停止をせず進行する、左右を十分に確認せずに交差点に進入するなどして、交差する道路を進行中の車両と衝突する事故が発生しています。

### ▶▶ 交通事故防止のポイント

#### 歩行者の方は



- 可能な限り横断歩道を利用する
- 横断前・横断中の安全確認
  - ・横断歩道でも、左右を確認してから横断
  - ・車が「来る前に渡れるだろう」「止まってくれるだろう」の思い込みは危険!
- 反射材や明るい色の服装を身につける

手を上げる、運転者と目を合わせるなど横断の意思表示を

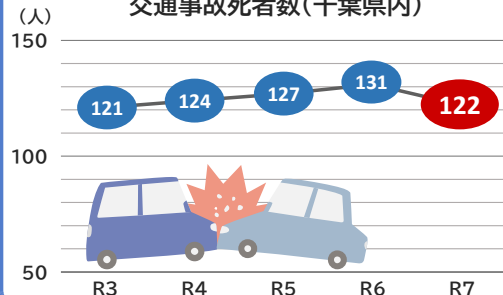


#### 車両を運転する方は

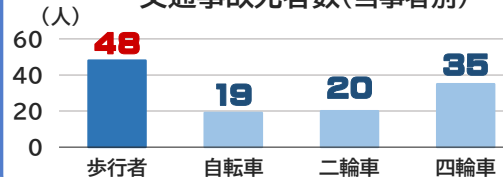


- 横断歩道は歩行者優先
  - ・歩行者がいたら必ず停止し、横断させる
  - ・横断歩道に近づいたら、減速して安全確認
- ライトで歩行者・自転車などを発見
  - ・暗くなる前から、早めにライトを点灯
  - ・小まめにライトを上向きに切り替えて、歩行者や自転車をいち早く見つける
- 交差点への進入・右左折時の安全確認
  - ・徐行や、必要に応じて一時停止を行い、他の車両や歩行者がいないかよく確認

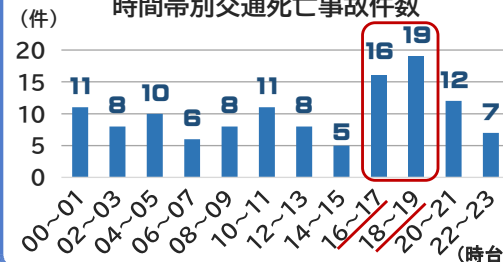
交通事故死者数(千葉県内)



交通事故死者数(当事者別)



時間帯別交通死亡事故件数



※四輪車、二輪車、原動機付自転車、自転車

	1位	2位	3位
車両同士の死亡事故	出会い頭	正面衝突	追突
件数	13件	11件	10件
(%)	(31.0%)	(26.2%)	(23.8%)